

# 平成21年度「全国学力・学習状況調査 - 分析・考察 - 」の概要

## 教科に関する調査の結果

県の平均正答率は、小中学校の国語、算数・数学ともに全国平均を上回り、A（知識）の方がB（活用）よりも高い。

[平均正答率] (%)

学年	県・国	国語		算数・数学	
		A	B	A	B
小学校 第6学年	本県	72.7	53.4	80.7	57.5
	全国	69.9	50.5	78.7	54.8
中学校 第3学年	本県	79.9	77.8	67.0	61.9
	全国	77.0	74.5	62.7	56.9

( A : 主として「知識」に関する問題  
B : 主として「活用」に関する問題 )

## 質問紙調査の結果

### 児童生徒質問紙調査より

- [学習・生活状況と正答率との関係]**
- 正答率が高い児童生徒にみられる傾向
- ・家庭学習の習慣が身に付いている
  - ・規則正しい生活をしている
  - ・自尊意識が高い
  - ・家族とのコミュニケーションをとっている
- 活用力に関する問題の正答率が高い児童生徒にみられる傾向
- 国語
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている
  - ・意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している
  - ・自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている
  - ・文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる
- 算数・数学
- ・問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える
  - ・授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
  - ・問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
  - ・問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

### 学校質問紙調査より

- [学校の状況と平均正答率との関係]**
- 平均正答率が高い小中学校にみられる傾向
- 指導に関すること
- ・国語の授業で、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った
  - ・児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした
- 学校の取組に関すること
- ・学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行った
- 児童生徒に関すること
- ・授業中の私語が少なく落ち着いている
  - ・熱意をもって勉強している
  - ・礼儀正しい
- [学校の状況の経年比較]**
- ・放課後を利用した補充学習については、小学校の84%(+18ポイント)、中学校の91%(+21ポイント)が実施し、前年度より増えている。
  - ・前年度同様、約90%の小中学校が、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。

## 到達状況

### 小学校

- 国語A**
- ・文章の内容に合った、正しい見出しを選ぶこと
  - ・接続語を使って、1つの文を2つの文に分けて書くこと
- 国語B**
- ・筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり、要約したりして書くこと
  - ・意図が伝わるように、話の組み立てを工夫して説明すること
- 算数A**
- ・整数、小数、分数の四則計算をすること
  - ・百分率（割合）を求めること
- 算数B**
- ・グラフの特徴を読み取り、割合の大小を判断した理由を説明すること
  - ・示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考えて書くこと

### 中学校

- 国語A**
- ・スピーチの特徴の説明として、適切なものを選ぶこと
  - ・主語に合わせて、述語の部分を正しく書くこと
- 国語B**
- ・詩の中の語句に注意し、その効果的な使い方に気付くこと
  - ・文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書くこと
- 数学A**
- ・( )を含む正の数と負の数の計算
  - ・証明について理解すること
- 数学B**
- ・問題解決の方法を、図や表、グラフなどを用いて説明すること
  - ・予想された事柄が一般的に成り立つ理由を、筋道を立てて考え説明すること

( : 良好、 : 課題)

## 今後の指導の重点

- 1 学校での指導について**
  - 「活用力」を高めるための指導の充実
    - ・全ての教科等において、記録や要約、説明など、活用力の基盤となる言語活動を充実させ、学年に応じた指導を進めること。
  - 学習意欲を高めるための指導の工夫改善
    - ・教材や授業の導入・展開の工夫など、わかる授業を目指し、児童生徒一人一人に学ぶ喜びや達成感を持たせるよう、授業改善を進めること。
  - 自尊意識・規範意識を高める指導の充実
    - ・将来の夢や目標を持たせたり、自分のよいところに気付かせるなど、児童生徒の自己肯定感を高めること。
    - ・児童生徒が落ち着いた環境の中で学習を進められるよう、学校全体で学習規律の指導の徹底を図り、規範意識を高めること。
- 2 家庭との連携について**
  - 家庭における学習習慣の充実
    - ・家庭学習の内容を工夫したり、学校での学習の様子を知らせるなど、保護者と連携し、家庭学習の習慣化を図ること。
  - 規則正しい生活習慣の維持向上
    - ・「早寝 早起き 朝ごはん」を推進するなど、規則正しい生活習慣の維持向上を図るため、家庭との連携を図ること。